

**新型コロナウイルス感染症のパンデミックにおける
アウトリガーカヌーおよびアウトリガーカヌークラブの活動上の留意点**

2021年5月29日
日本アウトリガーカヌー協会

アウトリガーカヌーパドラー、その集まりであるアウトリガーカヌークラブは、もともと社会性の高い組織・コミュニティであるべきと考えます。それは、レジャーで訪れる人、漁業で生計を立てる方々、地元で生活する人々、、、利害関係を含む様々な立場の人が集まる海辺で、全長13mもの大きなカヌーは非常に存在感があり、その活動に対して理解共感を得るには、周囲との調和が非常に大切だからです。

新型コロナウイルスへの対応についても同様です。「オープンエアだから大丈夫」と考えず、普段の生活と同等かそれ以上に感染拡大防止策をしっかりとって初めて With コロナの状況においても活動することができる。そういった謙虚で真摯な姿勢と、他人に移さない、自分もかからないという強い自制心をもつべきだと考えます。アウトリガーカヌーのパドラーは、マリンアクティビティの中でも最もコロナ感染防止に対する意識が強い、そのぐらいでありたいと思います。

JOCAで定めるガイドラインは、本来、突き詰めればこれだけです。このマインドと行動が伴えば、徹底すれば、アウトリガーカヌーの活動がクラスター発生の要因となる可能性は極めて低くなると思います。このアウトリガーカヌーパドラーとしてのマインドと行動を持つ以外に共有すべき、必要最低限の感染拡大防止策をガイドラインとしてまとめます。

昨年定めた「レース主催および参加におけるガイドライン」と共に参考いただき、アウトリガーカヌー、パドリングのある生活をこれからも続けていけるよう心掛けましょう。

<ガイドライン>

大前提として、国および各クラブの所在地あるいは活動拠点のある都道府県の行政からの指示や要請に従って活動を行う。

● **緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置への対応**

A) 緊急事態宣言が出されている場合

- 2人乗り以上のカヌーでの練習や講習会は極力控えるか、実施する場合は以下を徹底する。
緊急事態宣言が出されている場合は競技大会は中止または延期とする。
- ◇ 2人乗り以上のアウトリガーカヌーで海に出る場合は、飛沫防止のため、指示を出すステアマン以外は原則喋らない。ステアマンが声を出す場合も必要最低限に留める。
- ◇ アウトリガーカヌーを漕いでいる間は酸欠防止のためマスク着用は義務としないが、浜にいる間は必ずマスクを着用する。
- ◇ アウトリガーカヌーを準備する前に手洗いや消毒を徹底し、複数人が触れるギアへのウイルス付着による感染拡大を防ぐ。

- 1人乗りアウトリガーカヌーでの練習や講習会は実施を妨げない。しかし、1人乗りカヌーで複数人が集まって練習や講習会を行う場合は、浜にいる間は2人乗り以上のカヌーの場合と同様とする。競技大会については2人乗り以上カヌーと同様、中止または延期とする。

B) 緊急事態宣言は解除されたが、まん延防止等重点措置がとられている、あるいは引き続き警戒が必要な場合

- 練習や講習会は、緊急事態宣言下に準ずる以下の対策を講じたうえで実施可とする。競技大会についてはパドラー以外は参加しない最低限規模で実施するか、できれば中止または延期が望ましい。
 - ◇ 2人乗り以上のアウトリガーカヌーで海に出る場合は、飛沫防止のため、指示を出すステアマン以外は原則喋らない。ステアマンが声を出す場合も必要最低限に留める。
 - ◇ アウトリガーカヌーを漕いでいる間は酸欠防止のためマスク着用は義務としないが、浜にいる間は必ずマスクを着用する。
 - ◇ アウトリガーカヌーを準備する前に手洗いや消毒を徹底し、複数人が触れるギアへのウイルス付着による感染拡大を防ぐ。

C) 新しい生活様式を踏まえた通常状態（あるいはワクチン摂取が進んで集団免疫を獲得した場合）

- 通常の練習、講習会および競技大会の実施を可とする

● 日常生活からの注意事項

- アウトリガーカヌーを漕ぐために集まる場合は、過去2週間にわたり、体温37°C未満で、倦怠感、咳、咽頭痛または味覚や嗅覚異常などの体調異常無し、もしくはPCR検査陰性などが大前提となる。これに該当する場合は決して外出せず、医師の判断を仰ぐこと。
- 感染したり、濃厚接触者となった場合は、すべてのアウトリガーカヌーの活動を直ちに中止する。その後、感染させるリスクがないと判断され、練習や講習会などを再開する際には、医師と相談すること。
- クラブルーム、ロッカールーム、更衣室、シャワーなど不特定多数の人が使用する施設設備を利用する場合は入室時の手指の消毒を徹底する。
- 3密の回避、同居家族以外との対面での食事をできる限り避け、中性洗剤や石鹸によるこまめな手指の洗浄、アルコール消毒、外出時のマスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、公共交通機関利用をできるだけ最小限にするといった日常生活を送る上での留意点はベースとしてあるものとする。

※感染者や濃厚接触者が出た場合、あるいは出た場合に備えて

- アウトリガーカヌーの活動を感染ルートとする感染者が発生した場合には、その対処方法の共有とお互いの感染拡大防止対策のためにも、JOCA事務局 (info@joca.ne.jp) まで報告、協力をお願いいたします。
- 複数人が集まって練習や講習会および競技大会を実施する場合は、感染者や濃厚接触者が出た場合に連絡が取れるよう、参加者の記録（リストや写真など）を残すようにしてください。